

労働者犠牲のリストラ断固 NO!

秋闘は一時金2.0ヶ月で妥結

10月に労働組合と会社との間で展開された秋闘は、一時金2.0ヶ月分で妥結しました。RTは、夏の一時金とあわせて4.0ヶ月、これは上部団体である電機連合の示している最低基準（産別ミニマム基準）と同じです。ELは夏が1.75ヶ月だったので、通年では3.75ヶ月となり、最低基準を下回りました。

半期2.0ヶ月分の一時金では、貯金を取り崩さざるを得ない家庭もあるでしょう。従業員の生活水準の回復という観点からは、残念な結果だったと言わざるを得ません。

もちろん、ルネサスエレクトロニクスグループには、一時金自体が無い人も働いていることを承知しています。私達の労働と生活の実態に合った処遇をルネサス懇は希求します。

早期退職制度を実施へ

想定人数1200人

早期退職優遇制度の実施が、10月末に正式発表されました。今回の想定人数は1200人で、40歳以上で勤続5年以上の社員を対象にするとされています。RTもELも日立超Lも、つい2~3年前に早期退職を実施したばかりです。その時とほぼ匹敵する人数を、どうやって集めるのでしょうか。きっと退職強要があるに違いないと言う声を、あちこちで耳にします。



なぜ今早期退職なのか？

会社は早期退職を含む人的施策に、240億円もの予算を計上しています。ところが一方で、10月には緊急費用削減施策として、100億円の経費の追加カットを実施すると発表がありました。この100億円はR&D費から削るのだそうです。将来の成長のための貴重な開発費を削り

ながら、早期退職には大金をかける会社の姿勢には、ちぐはぐな物を感じないでしょうか。私達の冬の一時金も、資金繰りが苦しいとの理由から、電機連合の最低基準である2.0ヶ月で妥結したばかりです。一体お金があるのか無いのか。貴重なお金の使い道について、従業員にとって納得の行く説明が欲しいと思います。

退職強要には断固No!

会社は労働組合に対し、退職勧奨を行わないと約束しました。しかし、非組合員の管理職は大丈夫でしょうか。あるいは、地方の拠点など、見えにくい場所は安全でしょうか。もし退職勧奨や退職強要が行われている実態があれば、直ちに労働組合に相談すべきです。組合員で無い方は、最近流行りの「一人でも入れる労働組合」のひとつである電機ユニオンに相談されてみては如何でしょうか。

私達ルネサス懇も積極的に相談に乗ります。相談される方は、下記枠内のアドレスに電子メールにてお願いします。

2Q決算は営業黒字を達成

10月27日に、会社は2Qの業績を発表しました。営業損益は11億円の黒字、上期トータルでも7億円の黒字となりました。昨年度末に、最終損益の赤字を出来るだけ抑えるために、採算性の高い製品から優先して出荷したことから、その分今期は不採算性が足を引っ張って苦しいのではないかと見られていました。そのような中で黒字を達成したことは、従業員の頑張りとして十分に評価できるのではないのでしょうか。

下期は予想以上に進む円高の影響により、当初の見込みよりも厳しい状況が続くと言われています。しかし通年の営業損益目標は+70億円が変わりません。無理な目標設定が、従業員への処遇カットに帰結することのないよう、労働組合にはしっかりしたチェックを期待します。

ルネサス懇

ルネサス関連労働者懇談会 2010年12月 No.2

E-Mail : renesaskon@gmail.com

Web : http://www.renesaskon.net/

住所 : 東京都港区三田3-2-20 電機労働者懇談会気付

TEL : 03-3455-6006 FAX : 03-3451-3595

ルネサス懇 創刊号のピラを全国10ヶ所で配布

10月6日の玉川事業場における情宣活動を皮切りに、11月1日までの約1ヶ月をかけて、全国10ヶ所（玉川、武蔵、那珂、川尻工場、熊本錦工場、鶴岡工場、RMS横浜、日立超L（立川、国分寺）相模原）で計3635枚のピラを配布しました。ピラ撒きには、電機懇（日立、NEC、東芝、安川電気など）熊本県労連、ローカルユニオン熊本、鶴岡田川地域労連、その他地域の支援団体からの協力を得て、のべ71名が参加しました。

10月24日から25日にかけて行った鶴岡工場のピラ撒きでは、何人もの方が「ありがとうございます」「ご苦労さん」と挨拶を返してくださり、約8割の方がピラを受け取ってくださいました。

全国のルネサスグループおよび関連会社の職場で働く人達に、ルネサス懇の存在を知っていただく事ができたと思います。



<熊本錦工場における情宣活動の様相>

春闘に向けてアンケートを開始！

一時金2.0ヶ月と残念な結果に終わった秋闘。今年は、少し懐の寒い年末になりそうです。しかし年明けには次の春闘がやってきます。大手電機が軒並み大幅な業績回復をしているのは、私達にとって追い風になるのでしょうか。ベースアップと一時金の改善で、次回こそは失地回復と行きたいものです。

ルネサス懇では、次回春闘に向けてアンケートを実施します。皆さんの生活実感は如何でしょうか。皆さんが、日々の生活で貯金を取り崩す事なく、住宅や車のローン・家賃を払い、普通の生活水準を維持できる食費や服飾費などの生活費を確保し、時には趣味やレジャーを楽しみ、子供の養育や老後のための蓄えを築くには、月収であといくら必要でしょうか。今困っていることは何でしょうか。会社のリストラでしょうか、それとも賃金が安いことでしょうか。あるいは老後や年金など、将来の生活に関わることでしょうか。

ルネサス懇は、電機懇と共同でこのアンケートに取り組み、電機各社に勤める私達労働者の生活実感と実態を把握するよう努めます。その結果を共有して、何が最も重要な要求なのか、春闘で何を要求すべきかを話し合います。要求を実現するための最大の力は、私達の願いや希望を叶えようとする思いと意志の強さの結集に他なりません。



回答はWEBでも回収しています。

(<http://www.denkikon.net/opinion/>)

私達一人ひとりの思いを、集結させましょう。

ルネサスセミコンダクタ九州・山口 偽装請負・不当解雇是正の闘い

世論の力で裁判所を動かす

NECセミコン重層偽装請負訴訟原告団（団長柳瀬強）です。偽装請負のもと働かされ、不当に解雇された私たちは、NECセミコンダクターズ九州・山口（現ルネサスセミコンダクタ九州・山口）他2社に正社員としての地位確認・損害賠償などを求め、裁判をたたかっています。

私たちは「労働者はモノではない」と訴え、大きな世論で裁判所を動かす運動を展開し、裁判傍聴は毎回抽選となるような状況です。12月13日の第4回期日から、これまでの裁判官1名の審議から、裁判官3名（合議体）へ移行します。審議途中での移行は極めて異例で、この裁判の社会的な重要性を裁判所自ら示したといえます。世論の力が、裁判所を動かしたといえるのではないのでしょうか。

編集後記 10月に全国で取り組んだ宣伝行動では多くの方から温かい激励をいただきました。ルネサス懇のWebサイトやTwitterにも関心を寄せていただきアクセスが増えています。現在取り組んでいる春闘に向けたアンケートも、結果をWebサイトでお知らせする予定です。職場で起きている問題やご意見などもぜひお寄せください。

一人でも入れる電機の労働組合

電機ユニオン

Tel:03-3455-6006 Fax:03-3451-3595

Mail:info@denki-union.org

Web:http://denki-union.org/